

## 再評価対象事業

防災・安全社会資本整備交付金事業  
(広域河川改修事業) 弘田川

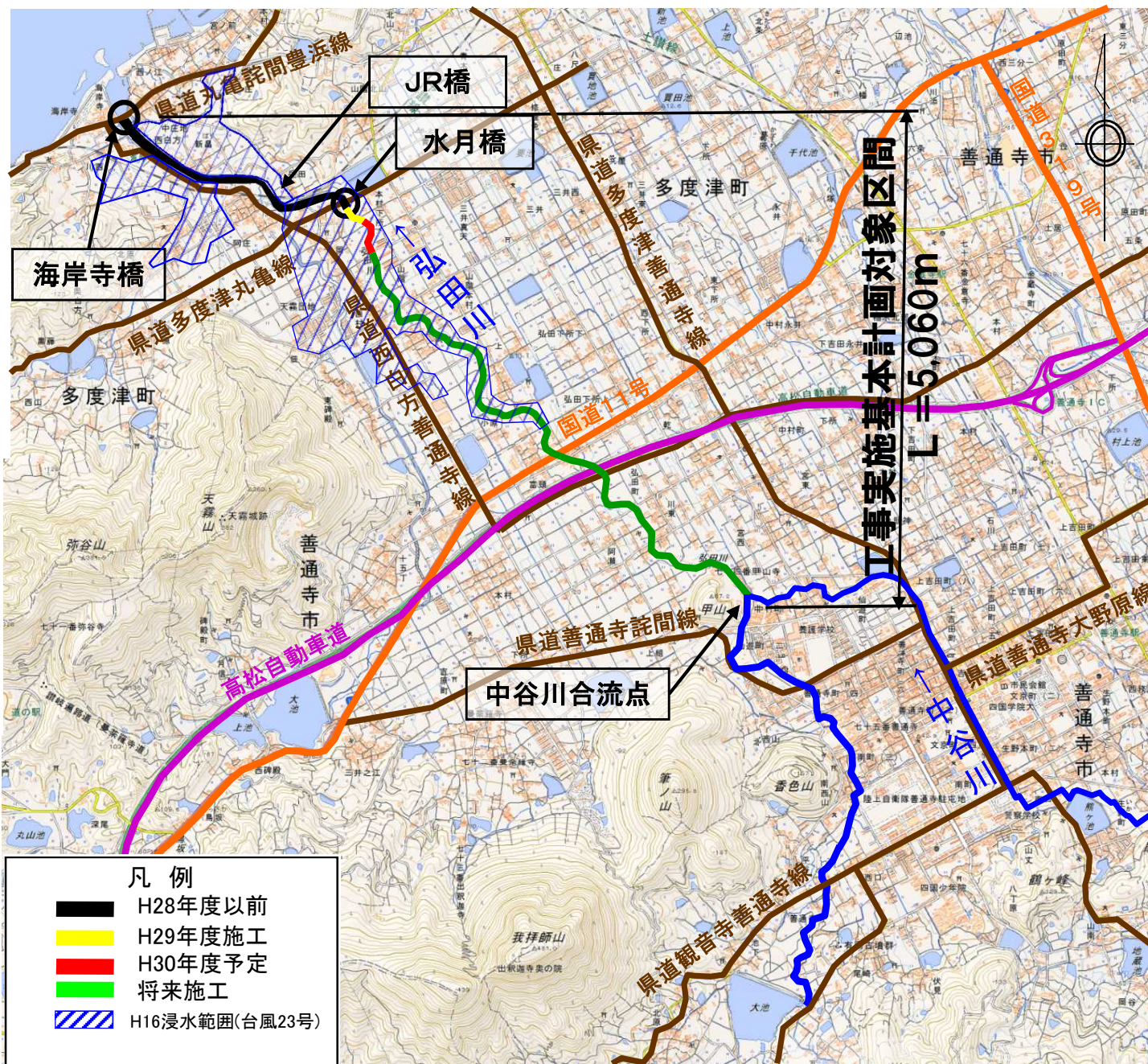
土木部河川砂防課

# 1. 位置図

- 流域面積 約33.7km<sup>2</sup>
- 流路延長 約7.5km
- 善通寺市と三豊市の境界に位置する  
大麻山に源を発し、4支川を束ねながら、  
多度津町で瀬戸内海へ流下する。



## 2. 事業の進捗状況①（工事実施基本計画）



「この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。」

### 河川改修の経緯

- S44 (1969) : 河川改修に着手  
河口～中谷川合流点
- H9 (1997) : 工事実施基本計画策定
- H21 (2009) : 河川整備基本方針策定

### 河川整備基本方針の概要

#### 河道への配分流量

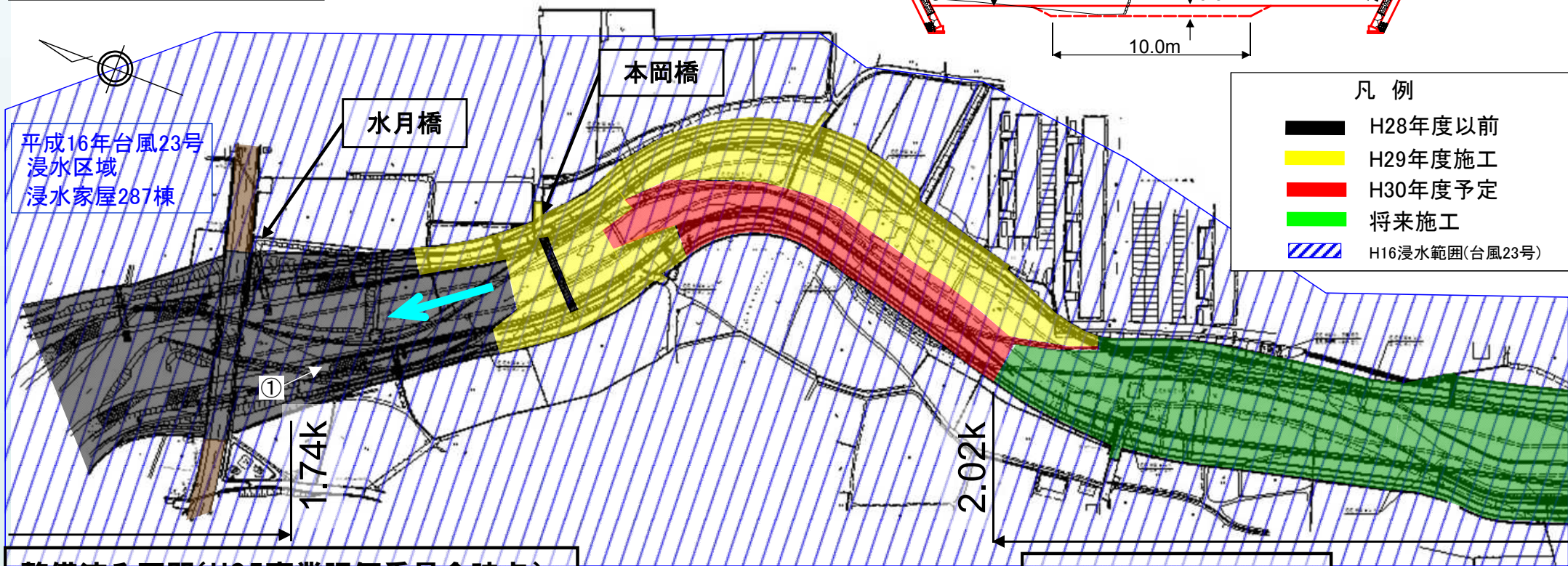
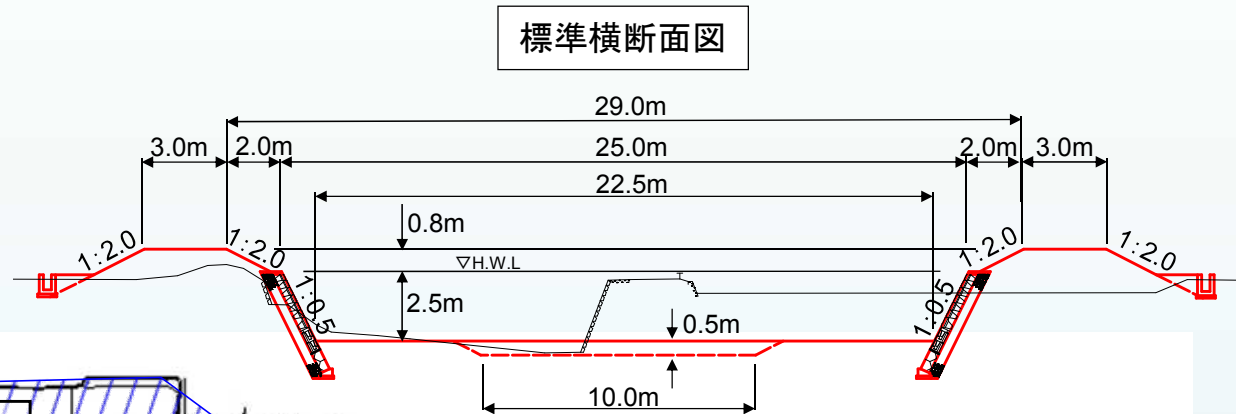
- 基準地点 JR橋において $350\text{m}^3/\text{s}$ とする。

### 工事実施基本計画の概要

#### 河川の保全に関する基本方針

- 多度津町、善通寺市の沿川地域を洪水から防御するため、河道については築堤、掘削等を施行して河積を拡大するとともに、護岸等を施行する。また、高潮区間には高潮堤防を施行する。

# 3. 事業の進捗状況② (これまでの整備状況)



整備済み区間(H25事業評価委員会時点)

残整備区間L=3.0km

着手年度	事業完了 予定年度	総事業費 (百万円)	29年度まで 執行事業費 (百万円)	進捗率	残事業費 (百万円)
S44 (1969)	H60 (2048)	15,340.0	6,380.8	工事 43.4%(事業費ベース) 用地 21.2%(面積ベース)	8,959.2

# 4. 被害の発生状況

## 浸水被害発生状況

洪水発生時期	発生要因	観測局	最大 時間雨量 (mm/h)	最大 24時間雨量 (mm/h)	浸水家屋(棟)		
					床下	床上	合計
昭和58年9月27日～29日	台風10号	多度津	37	233	371	37	408
昭和62年10月16日～17日	台風19号	多度津	39	168	195	24	219
平成2年9月17日～19日	台風19号	多度津	29	216	32	-	32
平成16年8月17日～18日	台風15号	多度津	54	150	2	-	2
平成16年10月19日～20日	台風23号	多度津	30	118	252	35	287

※被害戸数は浸水統計より

平成2(1990)年 浸水状況(台風19号)



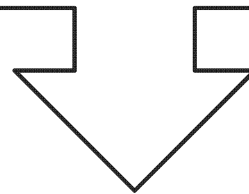
平成16(2004)年 浸水状況(台風23号)



## 5. 対応方針（案）

### 事業効果

■概ね30年に1回程度の降雨で発生する洪水を安全に下流に流下させることで**浸水被害の大幅な軽減**が期待できる。



### 対応方針（案）

■弘田川水系では度重なる浸水被害が発生しており、早急に**浸水被害を軽減**するため、**河川改修を実施する必要がある**、今後も事業を継続する。

■弘田川における治水計画は、平成9年に策定した「弘田川水系工事実施基本計画」である。今後、平成21年3月に策定した「**弘田川水系河川整備基本方針**」に沿って「**弘田川水系河川整備計画**」を策定し、より計画的な河川整備を実施する。